黒根区 地区　地区防災計画（地震・津波）

平成30年12月作成

黒根区　地区　地震・津波対策がんばる地域宣言

『にげる・生き延のびる・たすけあう』

そのため地域では、

・避難路の整備・改善

・避難地での助け合い・プライバシーの確保

・食料・水・衣類の備蓄

といった取り組みを、できる範囲で、地域のみんなでがんばっていきます。

いざという日のために備えておく普段の取り組み

視点	単位	取り組み	目標	備考
共生する	家庭	☑ 地震・津波による被害状況への理解	全住民理解（36戸）	津波の想定高さを表示する（イエロー・オレンジ等）
	家庭	☑ 避難時間の計測	全住民計測（36戸）	津波の想定高さを表示する（イエロー・オレンジ等）
	家庭	☑ 海のまち安全確保エリア、海のまち安全創出エリアの理解	全住民理解＆観光客含む（36戸）	津波の想定高さを表示する（イエロー・オレンジ等）
	地域	☑ 避難訓練の企画・実施	年2回	
		□		
逃げる	家庭	☑ ブロック塀の耐震化	全世帯実施（4ヵ所）	市補助活用可
	家庭	□ 建物の耐震化	全世帯実施（　世帯）	市補助活用可
	家庭	☑ 家具の固定	全世帯実施（36世帯）	市補助活用可
	家庭	☑ 津波避難のための装備の準備	全世帯実施（36世帯）	
	地域	☑ 避難路・避難場所の点検・管理	年1回	
	地域	☑ 避難所や防災倉庫の点検・管理	年1回	
	地域	☑ 避難完了宅の表示	36戸	

いざという日に備える地域の取り組みルール

◎避難行動の考え方（反射的に動けるようになることが理想！）

大きなゆれがきたら・・・

自力で避難できる人　⇒　逃げながら声かけをする

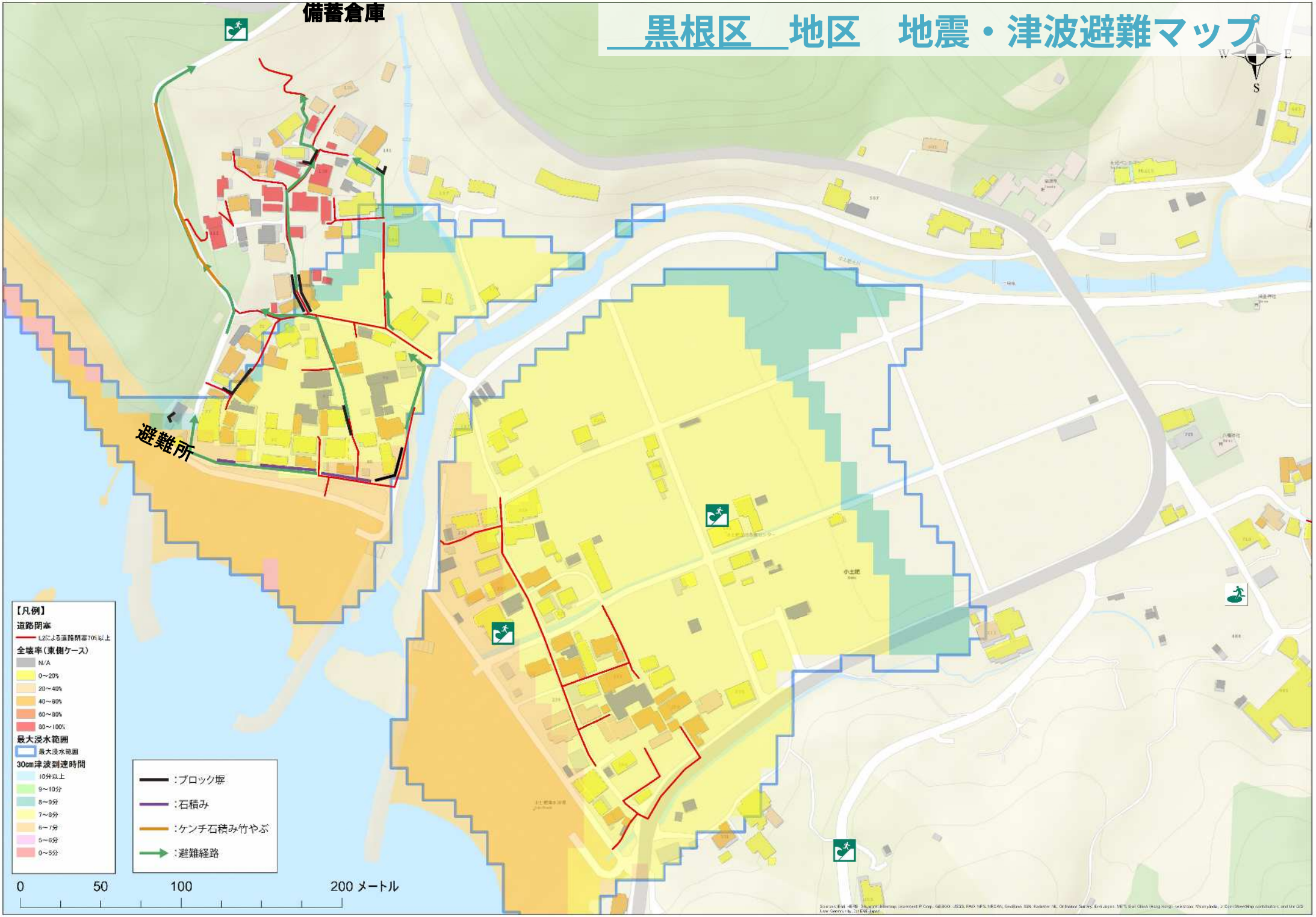
避難に支援が必要な人　⇒　あらかじめ把握しておいて、近隣同士で助けに行く

⇒

◎地区の避難先や備蓄をしている施設

施設名	資機材名	数量	単位	備考
避難場所（県道17号線）				
避難所（集合場所）	発電機			
備蓄倉庫（避難場所）	食料・水・各所の衣類・各戸のテント（住人1戸当り）			
	炊き出し用具・ソーラー発電照明			

黒根区　地区　地震・津波避難マップ



黒根区　地区　避難後に必要となる行動

避難直後の状況	避難後の行動	備考
	避難人員の確認（名簿によるチェック）→（いた場合）備蓄倉庫に保管してあるものを配布する （区民にテント、毛布、食料、水等） また、大きなテントの設営 ↓ 配付されたテントを各戸で設営する →（いない場合）電話をかける、安否確認をする ※名簿は区長保管とする	
タイミング・条件		